

各協力団体の取組

「クルーズdeツナグ・プロジェクト」第2弾北陸復興応援～全国から北陸へエールを～



団体名	日時	実施主体	内容
(一社)日本外航客船協会(JOPA)	4月～ 8月～	郵船クルーズ	・船内での日本工芸会所属の人間国宝による工芸品(輪島塗等)を販売、売上金の寄付 ・船内食材として、北陸の地場産品(能登牛等)を使用
	4月末～	商船三井クルーズ	・船内ショップに北陸の地場産品を仕入・寄付する新コーナーをオープンし、収益を寄付
日本国際クルーズ協議会(JICC)	4月11日	プリンセス・クルーズ	・船体に横断幕を設置し、乗客乗員より応援メッセージを記入いただき、最終的に金沢港へ贈呈
	調整中	ノルウェー جان・クルーズライン	・船内で北陸復興募金活動を実施
	調整中	ポナン	・金沢港寄港時に能登を含む石川県産の物産市を開催し、応援を旅客に促進 ・ポナン財団より北陸での現地活動中のNPOへ直接支援の実施 ・船内で寄付金を募集、同じく北陸で活動中のNPOへの直接支援の実施
(一社)日本旅行業協会(JATA)	1月5日～31日	JATA	・各社で義援金を募り、「令和6年度能登半島地震災害義援金口座」へ寄付
	3月～		・日本観光振興協会の「行こうよ！北陸キャンペーン」に参画し、各社で「ポスター掲示」「共通ロゴ掲載」の機運醸成を実施
	6月23日		・金沢港にて能登被災地の方々をコスタ・セレーナでの昼食会に招待するイベントを計画
	9月26日～29日		・東京ビックサイトで開催されるツーリズムEXPOジャパンの会場で、被災地が元気になるような復興支援のコーナーを計画
(一社)全国旅行業協会(ANTA)	3月～	ANTA	・「行こうよ！北陸」キャンペーン等を通じた旅行商品の造成・販売

全国クルーズ活性化会議の取組

「クルーズdeツナグ・プロジェクト」第2弾北陸復興応援～全国から北陸へエールを～



団体名	日時	実施主体	内容
全国クルーズ活性化会議	通年	各港湾管理者	・全国55の港湾管理者等が各港のクルーズターミナル等において、北陸応援として北陸4県の動画の放映や、特設ブースでのPRや募金などを実施予定

(参考) 全国55の港湾管理者等

【北海道】 小樽市、釧路市、函館市、留萌市

【東北】 青森県、秋田県、男鹿市、石巻市、山形県

【関東】 横浜市、千葉市、館山市、茨城県、大洗町、木更津市、東京都

【中部】 静岡県、愛知県、名古屋港管理組合、豊橋市、蒲郡市、常滑市、四日市港管理組合

【近畿】 京都府、舞鶴市、大阪市、神戸市、兵庫県、姫路市

【中国】 鳥取県、堺港管理組合、島根県、松江市、岡山県、広島県、呉市、尾道市、福山市、下関市

【四国】 香川県、徳島県、高知県

【九州】 北九州市、福岡市、長崎県、佐賀県、唐津市、熊本県、大分県、宮崎県、宮崎市、日南市、鹿児島県

【沖縄】 石垣市、那覇港管理組合